

何かに夢中になる経験



全国的にコロナの感染が広がる中ですが、先週から、予定どおり2学期をスタートすることができ、本当に良かったと思っています。ありがとうございます。

23日の始業式の日、玄関で子どもたちを待っていると、男の子が白いビニール袋を持って登園してきました。そして「たくさん集めたよ!」と言って袋の中を見せてくれました。なんと、セミの抜け殻が100個ぐらい入っています。びっくりしてしまいました。「よく集めたね。早くみんなに見せてあげよう。」と言うと、嬉しそうに園舎に入っていました。あとで聞いてみると「アスレチックのところで、ずっと集めていたら、いつの間にかこんなに集まっちゃった。」と言っていました。どう考えてもあんなにたくさんのセミの抜け殻を見つけるのは大変なことです。その好奇心と集中力には感心してしまいます。

次の日には、年長組の女の子が小学校で使うようなノートを2冊、大事そうに抱えて登園してきました。そのノート見せてもらおうと、びっしりとひらがなが書いてあります。お姉ちゃんと一緒に毎日のように練習したそうです。

子どもたちは「いま」に生きています。どんな状況にあっても「今が一番楽しい」のが「子ども」です。子どもは、何かに夢中になり、没頭する中で、試行錯誤し、考えたり気づいたりして学んでいくと言われています。大事なことは、子どもたちが「夢中になれる活動があるか」「没頭するものがあるか」ということにつきます。子どもが伸びる可能性はそこにあります。

「コロナ後の世界」を生きる子どもたちです。この危機をプラスに転じ、子どもたちが大きく成長していけるよう、2学期も子どもたちのために何ができるかを、みんなで考え、確実に実践していきたいと考えています。

令和4年度の園児募集要項を配付します

明日9月1日(水)から令和4年度の市立幼稚園の園児募集要項が配付になります。

子どもの数が多ければ、その分だけ子ども同士のかかわりは豊かになります。来年度もたくさんの子供たちが清水幼稚園に来てくれるといいなと思っています。

知り合いの方などにもお知らせください。お願いします。

